

七生福祉園だより



第 285 号 令和 6 年 3 月 吉日

令和 5 年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は株式会社日本生活介護です。児童施設と成人施設の概要は次のとおりです。

詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。ファイルを閲覧希望の方は、職員にお申し出ください。

園では評価結果を踏まえ、利用者サービスのより一層の向上に努めてまいります。

児童施設（福祉型障害児入所施設）

成人施設（障害者支援施設）

<p>特に良い と思う点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 長い歴史の中で積み重ねられた知識や経験と新たな支援力を高め、他の施設で受入が難しい子どもを積極的に受け入れている。 地域移行に向けて早期の意識づけや児童自活寮での生活訓練を行ない、スムーズな移行を目指している。 グループホームや成人施設への移行者に対し、2年間にわたり訪問支援や相談、出身寮・自活寮への外泊受入等のアフターケアを提供している。 	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の重度化・高齢化が進んでいる中で、適切な支援を提供するため、職員の支援力を高めている。 生活の充実を図るために多様な日中活動を提供し、利用者は特性に応じた活動を意欲的に楽しんでいる。 職員間のコミュニケーションの質が高く、それぞれの専門性を活かしながら、利用者のニーズに応じたサービスを提供し、問題を解決している。
<p>さらなる 改善が望 まれる点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 環境の変化に合わせた事業継続計画（BCP）の見直しに合わせ、職員へのさらなる理解が深まる取り組みに期待したい。 法人と連携しながら、統一した支援記録システムの開発と運用を円滑に進めていくことが期待される。 職員の確保や業務のさらなる改善により、職員の負担感が軽減されることに期待する。 	<ol style="list-style-type: none"> 環境の変化に合わせた事業継続計画（BCP）の見直しに合わせ、職員へのさらなる理解が深まる取り組みに期待したい。 ICT化が進み記録が統一されているが、総合的なシステムの導入について検討していくことも期待される。 職員の確保や業務のさらなる改善により、職員の負担感が軽減されることに期待する。
<p>特に力を 入れてい る取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 発達障害及び被虐待児に対応する職員の支援力を高めるための研修に力を入れている。 ライフスイッチという入所支援計画作成システムを導入して子どもの記録を整備している。 専門職から専門的見地の助言を受け、個々の子どもへの療育支援に生かしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の日常生活動作の維持のため、専門職が日常的に関わり、強化を図っている。 職員が職員行動規範を遵守し、利用者の権利擁護とプライバシーの保護に取り組んでいる。 職場定着において高い実績を上げており、「利用者のつどい」で交流を継続している。（就労移行支援）

当園の園だよりは知的障害のある方への合理的配慮からルビをつけて提供しております。ルビ無しをご希望の方は当園職員までお申し出ください。

今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況など

(人)

児童	入所	退所	(退所先内訳)		
			グループホーム	成人施設	家庭
	10	11	10	1	0
成人	入所	退所	(退所先内訳)		
			グループホーム	他施設	その他
	1	3	0	0	3

【児童支援部門】今年度は4歳から14歳までの方10名が新たに入所し、地域移行された方は11名でした。移行先はグループホーム10名、成人施設1名でした。

【成人支援部門】20歳代の方1名が新たに入所し、3名が逝去されました。

「建築物バリアフリーパンフレット」

表紙絵画コンクール

入賞

利用児の方の作品が東京都主催の絵画コンクールにおいて、優秀賞に選ばれました。入賞作品は管理棟1階に展示しているのので、来園の際は是非ご観覧ください。



七生フォト コーナー



日中保育 卒室式

日中活動